

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	乳癌の神経内分泌分化に関する臨床病理学的検討
研究責任者	聖隷浜松病院 病理診断科 大月寛郎
研究実施体制	聖隷浜松病院 病理診断科 大月寛郎
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2027年12月31日
対象者	2019年1月から2022年12月までの間に聖隷浜松病院にて手術が行なわれ、聖隷浜松病院病理診断科にて非浸潤性乳管癌、浸潤性乳管癌、浸潤性小葉癌、粘液癌と診断された患者様
研究の意義・目的	乳腺は本来神経内分泌細胞は存在しないといわれていますが、一部の乳癌においてそれに神経内分泌分化を示すことが知られています。しかし、神経内分泌分化を呈する乳癌の割合やその程度に関する具体的な報告はまだ少ない現状にあります。本研究では、当院で過去に病理診断を行った乳癌組織に対して、免疫染色等病理学的な検討を行うことで、乳癌の神経内分泌分化に関する臨床病理学的特徴を明らかにすることを目的としています。また、神経内分泌細胞が存在しない乳腺に神経内分泌分化を示す癌が発生するメカニズムを解明する端緒となることも期待されます。
研究の方法	対象患者様に関して、診療録から年齢、性別、乳癌の家族歴、手術日、病理学的所見、転帰に関する情報を検索します。また、病理診断科で保管している病理組織検体に関して、組織形態、細胞形態の詳細な観察を行い、新たに免疫染色を行いません。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 病理診断科 (氏名) 大月寛郎 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日